

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年7月28日

上場会社名 かどや製油株式会社  
 コード番号 2612 URL <http://www.kadoya.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 小澤 二郎  
 (氏名) 戸倉 章博

TEL 03-3492-5545

上場取引所 大

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	5,599	0.2	836	6.5	851	4.6	492	10.8
23年3月期第1四半期	5,585	△5.1	784	0.7	812	△0.5	444	△6.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	52.44	—
23年3月期第1四半期	47.33	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	21,551	17,198	79.8	1,829.63
23年3月期	22,679	17,333	76.4	1,844.06

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 17,198百万円 23年3月期 17,333百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	—	0.00	—	65.00	65.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	65.00	65.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,500	1.7	1,400	△11.8	1,400	△10.4	900	4.1	95.75
通期	22,400	2.6	2,600	△4.6	2,600	△4.8	1,550	1.8	164.90

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	9,400,000 株	23年3月期	9,400,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	124 株	23年3月期	124 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	9,399,876 株	23年3月期1Q	9,399,876 株
----------	-------------	----------	-------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

尚、上記予想に関する事項は添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(5) セグメント情報等 .....	7
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、3月11日に東北、関東地方を中心に発生した大地震により、先行きの見えない厳しい状況が続いております。

食品業界におきましても、一部の食品から放射能が検出された上、生牛肉による食中毒事件が起きる等食品の安全性に対する意識が一層高まってきており、風評被害も懸念される状況にあります。

このような状況下、テレビコマーシャルの実施や新聞への折り込み広告等を通じて、更なる需要の掘り起こしを図ったことから売上高は前年同期比0.2%増となりました。

コスト面では、購入タイミングの関係で原料在庫数量の少なかった前期に比べ、支払保管料が増加したこと等から製造経費は前年同期比1.1%増となりましたが、原料払出価格が安定したことにより、3年前に原料購入価格が高騰したことによる仕掛品や製品の在庫評価への影響がほぼなくなり、売上原価は前年同期比4.5%減となりました。

一方、販売費及び一般管理費は、販売数量を確保するためテレビコマーシャルを始め販促費が増加したこと等により販売経費は前年同期比11.0%増加したため、全体では前年同期比7.6%増加となりました。

この結果、売上高は、5,599百万円(前年同期比14百万円増)、経常利益は851百万円(前年同期比38百万円増)、四半期純利益は492百万円(前年同期比48百万円増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## ①ごま油事業

ごま油事業におきましては、「食べるラー油」ブームが一段落したこと等から業務用は苦戦しているものの、当社の工場は香川県小豆島に位置し、原料、副資材調達等でも先般の地震の影響がほとんどなかったため、震災直後から安定供給を続けられた家庭用は堅調に推移しました。

また、原料購入価格はドルベースでは前期を上回っておりますが、為替が円高で推移していることから円ベースではほぼ変わらない状況であります。

こうした環境下において、積極的な販売促進活動を行う等、販売数量を確保するための対策を実施しております。

以上の結果、売上高は4,562百万円(前年同期比21百万円増)、セグメント利益は663百万円(前年同期比58百万円増)となりました。

## ②食品ごま事業

食品ごま事業におきましても、景気デフレ下、消費者の節約志向、買い控え等の動きが続き、需要の顕著な回復は見られませんが、震災直後から安定供給を続けられた家庭用については好調に推移しました。

また、原料購入価格はドルベースでは前期を上回っておりますが、為替が円高で推移していることから円ベースではほぼ変わらない状況であります。

こうした環境下において、当社は原料価格の低下に合わせ販売価格を是正する等、販売数量を確保するための対策を実施しております。

以上の結果、売上高は1,036百万円(前年同期比6百万円減)、セグメント利益は172百万円(前年同期比6百万円減)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の資産につきましては、前期末に比べ1,127百万円減少しました。これは売掛金が223百万円増加するなどの増加要因があったものの、現金及び預金が867百万円、棚卸資産が413百万円減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、前期末に比べ992百万円減少しました。これは買掛金が612百万円、未払金が117百万円、未払法人税等が288百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前期末に比べ135百万円減少しました。これは四半期純利益492百万円計上する一方、配当金の支払い610百万円により利益剰余金が118百万円、繰延ヘッジ損益が13百万円、その他有価証券評価差額金が4百万円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年5月13日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,474	5,607
受取手形及び売掛金	4,449	4,680
商品及び製品	905	910
仕掛品	667	630
原材料及び貯蔵品	3,020	2,639
その他	392	317
流動資産合計	15,909	14,786
固定資産		
有形固定資産	5,260	5,192
無形固定資産	18	17
投資その他の資産	1,490	1,555
固定資産合計	6,769	6,765
資産合計	22,679	21,551
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,424	1,812
未払法人税等	596	308
賞与引当金	179	109
役員賞与引当金	72	17
その他	1,302	1,323
流動負債合計	4,575	3,571
固定負債		
長期未払金	47	41
退職給付引当金	652	670
資産除去債務	69	69
固定負債合計	769	781
負債合計	5,345	4,353
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,160	2,160
資本剰余金	3,082	3,082
利益剰余金	12,082	11,964
自己株式	△0	△0
株主資本合計	17,325	17,207
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△8	△12
繰延ヘッジ損益	16	3
評価・換算差額等合計	8	△8
純資産合計	17,333	17,198
負債純資産合計	22,679	21,551

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	5,585	5,599
売上原価	3,302	3,151
売上総利益	2,282	2,447
販売費及び一般管理費	1,497	1,611
営業利益	784	836
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	8	8
為替差益	17	2
雑収入	2	4
営業外収益合計	29	16
営業外費用		
支払手数料	1	1
雑損失	0	0
営業外費用合計	1	1
経常利益	812	851
特別損失		
固定資産除売却損	16	1
投資有価証券売却損	—	0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	31	—
特別損失合計	48	1
税引前四半期純利益	764	849
法人税、住民税及び事業税	280	300
法人税等調整額	38	55
法人税等合計	319	356
四半期純利益	444	492

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	764	849
減価償却費	163	158
その他の償却額	—	1
賞与引当金の増減額(△は減少)	△67	△69
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△60	△54
退職給付引当金の増減額(△は減少)	19	18
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△0
受取利息及び受取配当金	△10	△9
支払手数料	1	1
投資有価証券売却損益(△は益)	—	0
有形固定資産除売却損益(△は益)	16	1
売上債権の増減額(△は増加)	△336	△230
破産更生債権等の増減額(△は増加)	—	0
たな卸資産の増減額(△は増加)	△102	413
前払費用の増減額(△は増加)	△0	△15
未収入金の増減額(△は増加)	△0	△0
その他の資産の増減額(△は増加)	△5	△50
仕入債務の増減額(△は減少)	905	△611
未払金の増減額(△は減少)	△147	△193
未払費用の増減額(△は減少)	△10	△10
未払消費税等の増減額(△は減少)	△178	62
その他の負債の増減額(△は減少)	19	38
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	31	—
小計	1,003	297
利息及び配当金の受取額	10	9
支払手数料の支払額	△2	△2
法人税等の支払額	△744	△580
営業活動によるキャッシュ・フロー	266	△277
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△693	△63
有形固定資産の売却による収入	0	0
有形固定資産の除却による支出	△2	△0
無形固定資産の取得による支出	—	△3
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	—	0
貸付けによる支出	△0	—
貸付金の回収による収入	1	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△697	△66
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△514	△523
財務活動によるキャッシュ・フロー	△514	△523
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△945	△867
現金及び現金同等物の期首残高	6,251	6,459
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,305	5,592



## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

(セグメント情報)

## I 前第1四半期累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ごま油	食品ごま	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,540	1,042	5,583	1	5,585
計	4,540	1,042	5,583	1	5,585
セグメント利益	605	179	784	0	784

(注) 1. 「その他」の区分には、「仕入商品販売」を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	784
「その他」の区分の利益	0
四半期損益計算書の営業利益	784

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ごま油	食品ごま	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,562	1,036	5,598	0	5,599
計	4,562	1,036	5,598	0	5,599
セグメント利益	663	172	836	0	836

(注) 1. 「その他」の区分には、「仕入商品販売」を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	836
「その他」の区分の利益	0
四半期損益計算書の営業利益	836

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。